

# 1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

## (1) 豊かな自然環境と共生した生活を実現します

新=新規事業、拡=拡充事業 (事業名の頭に標記)

### 新 住宅用太陽光発電設備設置事業補助金

1,160万円

(担当：環境課 環境政策係)

地球温暖化対策と低炭素社会の実現を目的として、一般家庭における太陽光発電システムの設置に対して助成しました。(99件)



一般家庭への普及が進む太陽光発電パネル

### 拡 みやぎ環境交付金事業

763万円

「みやぎ環境税」を活用し、地球温暖化対策や野生鳥獣対策の事業を実施しました。

#### ■ 住宅用省エネルギー機器導入支援事業補助金

(担当：環境課 環境政策係)

一般家庭における環境に配慮した省エネルギー機器(高効率給湯器)の購入に対して助成しました。(22件)

#### ■ LED道路照明灯交換事業

(担当：建設課 管理係)

二酸化炭素削減を図るため、道路照明灯を消費電力の少ないLED照明灯に交換しました。(23基)

#### ■ 野生鳥獣対策防護柵設置補助事業

(担当：農林振興課 林業振興係)

ツキノワグマなどによる農林産物への被害防止対策として、田畑への防護柵などの設置に対して助成しました。(7件)

### みず 農地・水保安全管理支払交付金事業

5,941万円

(担当：農業政策推進室 農業政策推進係)

田畑や農業用水などの資源や農村環境の保全と質の向上を図るため、地域ぐるみの共同活動や水路などの更新、補修を行う長寿命化の活動に対して支援を行いました。



共同活動によるため池の草刈り

### 電気自動車用急速充電器設置事業

856万円

【H25年度への繰越額 1,145万円】

(担当：管財課 財産係)

環境にやさしいまちづくりを進めるため、栗原市役所、栗駒総合支所、道の駅「路田里はなやま」の3か所で急速充電器設置工事を行いました。



栗原市役所駐車場に設置した急速充電器(平成25年10月完成)

### 資源ごみ収集処理事業

2,214万円

(担当：環境課 生活環境係)

ごみの減量化・再資源化を推進するため、資源ごみの適正処理や分別の普及啓発を行い、ごみの排出量の減少が図られました。

(ごみの排出量：対平成23年度 5%減)

# 1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

## (2) 多様な暮らしを満喫できる生活環境を形成します

= 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

### 公営住宅整備事業

2億239万円

(担当：建築住宅課 建築係)

【H25年度への繰越額 2億2,592万円】

安心して暮らせる居住・生活環境の整備を図るため、地域と密着・連携した公営住宅の建設と、建替えにより用途廃止となった公営住宅の解体を行いました。

また、定住化を図るため、新たな定住促進住宅敷地の造成設計を行いました。

建設 (栗 駒) 市営八日町住宅建替  
解体 (高清水) 市営五輪東住宅  
設計 (瀬 峰) (仮称)定住促進下藤沢住宅



市営八日町住宅建設地 (上町裏住宅建替)

### 都市計画道路事業

6,410万円

【H25年度への繰越額 3,290万円】

(担当：都市計画課 都市計画係)

都市計画道路として安全で快適な交通体系を確保しながら、利用しやすい街路づくりを推進しました。

(築館) 一迫南線、小山内沢線、源光町田線



現在整備中の都市計画道路一迫南線

### 都市計画用途地域・都市計画道路見直し事業

625万円

(担当：都市計画課 都市計画係)

都市計画用途地域・都市計画道路は合併前のままとなっているため、平成21年3月に策定した都市計画マスタープランを踏まえ、新しい都市計画用途地域・都市計画道路を平成25年3月に決定しました。



用途指定されている街並み(築館宮野地区)

### 道路橋りょう維持事業

4億2,631万円

【H25年度への繰越額 1億499万円】

(担当：建設課 維持係)

安全・安心で快適な道路環境を整備するため市道や生活道路などの補修を行いました。



市道中道線 (一迫)

# 1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

## (2) 多様な暮らしを満喫できる生活環境を形成します

新規事業、 拡充事業 (事業名の頭に標記)

### 道路整備事業

1億8,496万円

(担当: 建設課 建設係)

【H25年度への繰越額 2億3,438万円】

市民の生活を支える基礎となる市道(橋梁)の安全性と快適性を確保するため、幅員の狭い道路や見通しの悪い急カーブなどを改良しました。

- 《築館》間渡戸線
- 《築館・一迫》栗原中央西線
- 《若柳》大林9号線、新田線(2期)
- 《高清水》上萩田線、覚満寺線(2期)
- 《鶯沢》辻前遠堀線(2期)
- 《金成》片馬合原線、片馬合萩荘線
- 《志波姫》熊谷線大原橋
- 《市内一円》橋梁詳細点検(4橋)



市道間渡戸線(築館)

### 携帯電話基地局整備事業

5,095万円

(担当: 市政情報課 情報化推進係)

花山地区(小豆畑、大笹)に携帯電話基地局を整備することで、携帯電話不感地域の解消を図りました。

花山地区(小豆畑)に整備した鉄塔



### 新地域交通システム整備事業

1億9,633万円



(担当: 市民協働課 地域振興係)

市民バスを運行するとともに、市民が利用しやすい交通体系を確立するため、実態調査による市民バスの運行の見直しを行いました。

また、他の市民バスとの乗継ぎなどにかかる利便性を図るため、時刻改定や一迫真坂地区から栗駒病院への「真坂岩ヶ崎線」を新設しました。

# 1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

## (3) 安全・安心なまちづくりを推進します

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

### 耐震診断・耐震改修等助成事業

2,721万円

(担当：建築住宅課 建築係)



住宅耐震改修の状況

今後の大地震に備え、昭和56年以前の木造住宅の耐震診断やその診断結果に基づく耐震改修工事に対して助成しました。また、高齢者や母子家庭世帯の室内の安全確保を図るため、タンスなどに家具転倒防止器具の取り付けを行いました。

- 木造住宅耐震診断助成事業：45件
- 木造住宅耐震改修工事助成事業：21件
- 家具転倒防止器具取付事業：10件

### 小・中学生に対する命をつなぐ学習事業

81万円

(担当：消防本部 警防課警防係)

応急手当の方法を習得しながら、命の大切さを学ぶための学習事業を市内の小・中学生を対象に実施し、子供たちの心の教育につなげました。(小学校8校、中学校3校)



AEDの取扱いも学びました

### 高規格救急車整備事業

2,873万円

(担当：消防本部 警防課警防係)

栗原消防署北分署に高度救命処置が可能な高規格救急車を配置しました。



高度救命処置用資器材搭載の高規格救急車

### 「栗原市防災の日」総合防災訓練

284万円

(担当：危機対策課 防災係)

6月14日を「栗原市防災の日」と定め、岩手・宮城内陸地震と東日本大震災という2度の震災の経験を踏まえながら、自主防災組織などを中心とした防災訓練を行いました。



- 平成24年6月17日(日) 会場：一迫中央公園周辺
- 訓練種目数：25種目 訓練参加団体数：296団体
- 訓練参加人数：946人



平成24年度 総合防災訓練の様子

## 2 「豊かな感性と生きる力を育むまち」

### (1) 次代を担うたくましい子どもを育成します

 新規事業、 拡充事業 (事業名の頭に標記)

#### (仮称) 金成小中一貫校建設事業

4億688万円

(担当：学校教育課 教育環境推進係)

【H25年度への繰越額 12億370万円】

金成地区の小学校(沢辺、金成、萩野、萩野第二、津久毛)を1校に再編し、金成中学校と併せて創設する小中一貫校の施設整備を進めています。

平成26年4月の開校に向けて、平成24年度は校舎・屋内運動場・プール施設などの建設工事を行いました。

(仮称) 金成小中一貫校イメージ図



#### 岩ヶ崎小学校改修事業 9,945万円

特別支援教室・学習室の増築工事等を行いました。

#### 若柳小学校改修事業 6,346万円

【H25年度への繰越額 4,407万円】  
屋根改修、内装改修などを行いました。

#### 若柳幼稚園整備事業

2億1,028万円

保育室・遊戯室等の増築工事を行いました。

(担当：学校教育課 教育環境推進係)

増築工事を行った若柳幼稚園



#### 家族・地域・学校の連携による青少年育成のための協働教育推進事業 121万円

(担当：社会教育課 生涯学習係)

学校と地域をつなぐコーディネーターやボランティアを養成し、協働教育を推進しました。

#### 学力向上のための緊急プロジェクト

432万円

宮城教育大学と連携し、中学生の学びの場である「もっと学びたい子どものための『学府くりはら塾』」の開講や、学び支援コーディネーターを活用した小学生版『学府くりはら塾』の開講などにより、総合的な学力の向上を図りました。

#### 豊かな心をはぐくむ教育環境創造事業

ほか3事業 579万円

(担当：学校教育課 指導係)

教育相談員の配置や適応指導教室(けやき教室)の開設、問題を抱える子ども等の自立支援事業などを行い、いじめ、不登校問題に関する児童生徒、保護者の専門相談に対応しました。

#### 語学指導を行う外国青年招致事業

6,144万円

外国語指導助手(ALT)を市内全中学校に配置し、英語教育と地域交流などを推進しました。

また、市内小学校における独自の英語活動を導入し、留学生との交流などを通じて、生きた英語教育を実践しました。

(担当：学校教育課 指導係)

## 2 「豊かな感性と生きる力を育むまち」

### (2) 人生を楽しむための実践機会を充実します

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

**ほんものの舞台芸術観賞事業 404万円**  
(担当:社会教育課 文化スポーツ推進係)

優れた文化芸術に触れる機会と、本格的な舞台芸術の鑑賞機会を提供し、未来の文化の担い手である子どもたちの感性や創造性を育みました。



小学校5年生から中学校3年生芸術観賞会  
演劇「Sky ～ あの空の向こうに～」の様子

**「心にきざむ 文化講演会」 46万円**  
(担当:社会教育課 文化スポーツ推進係)

和洋女子大学の佐藤勝明教授を招き、「『奥の細道』のおもしろさ」について講演をいただきました。

**「目指せ！日本一」スポーツ振興事業 433万円**

各種スポーツの全国大会などへの出場選手(団体)に参加費を助成しました。(52件)

**「やったね！日本一」スポーツ振興事業 5万円**

全国大会で日本一など優秀な成績を残した各種スポーツ出場選手の活動を支援しました。(3件)

(担当:社会教育課 文化スポーツ推進係)



第47回全日本少年剣道錬成大会参加者

**くりはらグリーンパスポート事業 5万円**  
(担当:社会教育課 生涯学習係)

児童・生徒がパスポートを使って、「見て・聞いて・触れて」体験を通して、たくさんの発見をすることを支援しました。

※くりはらグリーンパスポート

市内の児童・生徒がパスポートに掲載されている県内の社会教育施設を利用したり、見学する際、受付窓口で提示すると無料になります。

### (3) 地域に根ざした文化の振興と歴史の継承を図ります

**文化財保護事業 7,800万円**  
(担当:文化財保護課 文化財係・埋蔵文化財係)

史跡山王団遺跡の整備、史跡伊治城跡公有化(土地の買上)のほか、市内文化財の調査保護、地域の伝統芸能活動の支援を行いました。

史跡伊治城跡発掘調査現地説明会の様子

